

J R労働者が働きやすい環境づくりと社会に寄与する運動を作ろう!

東日本ユニオン仙台地方本部

J R東日本労働組合仙台地方本部 発行責任者 竹嶋公生 編集責任者 教宣部
仙台市宮城野区東六番丁31-2 NTT電話 022-221-7375 NTT FAX 022-221-7509
J R電話031-3906 J RFAX 031-3909 メールアドレス unionssendai@yahoo.co.jp



主催者挨拶をする 新潟地本 岡村委員長

更なる連携の強化を確認

仙台・新潟地本交流会開催される

6月10日、新潟市内のホテル会議室において、「仙台地本と新潟地本の交流会」が開催された。仙台地本からは、新潟支社と相互乗り入れをしている線区の運輸関係組合員など14名が参加し、相互乗り入れ線区の問題点や、再加盟が認められた山形県交運労協の今後の活動について議論を深めた。

新潟地本鳥谷書記長の司会で始められた交流会の開会にあたり、新潟地本岡村委員長は山形県内における地域共闘運動の構築に向けた仙台地本からの働きか

けに理解を示したうえで「雪解け」という言葉を用いて、両地本によるスタートが切られたことを力強く宣言した。仙台地本竹嶋委員長からは、交流会開催までの経緯、佐藤書記長からは地域運動への想いと継続を若い力に託す願いが述べられた。山形県協議会草薨議長は、奥羽本線大石田駅におけるバリアフリー化の取組みなど、かつての県協運動の成果が昨年11月のオプザーバー加盟に後押しとなった

と分析し、今後、鉄道軌道部会で「東北陸運局・山形運輸支局への要請として羽越本線、米坂線、陸羽西線の問題点を上申したい」と具体的な取り組みを提起し、そのための組織整備を要望した。新潟地本の組合員からは、オプザーバー加盟に関する質問や、地



交流会に結集した新潟・仙台地本の組合員(新潟駅前)

域運動の必要性は認識しつつ日々の活動に忙殺され実感できない現状への苦悩や不安について発言があった。集約にあたって、様々な地域の要望は労働者を通して上がってきており、問題の解決は会社や労働者にとっても有意義であり、新潟の地においても組合員の声と実態に則した形で、

交運労協運動に参加できることが望ましいとの認識を全体で確認した。場所を移して行われた懇親会は、乗り入れ線区ごとにテーブルを囲み、新潟の地酒と料理に舌鼓を打ちながら、問題点の共有化を図り、解決に向け奮闘しあう決意を固めあった。

夏季手当妥結!

2.91ヶ月
6月27日 支払い

本部は、「2017年度夏季手当に関する申し入れ」を2月17日に経営側に提出し「基準内賃金の3.2ヶ月分」および「55歳以上の社員、エルダー社員、グリーンスタッフへの5万円の加算」を求めて鋭意交渉を重ねてきた。経営側は「修繕費の増加による6期ぶりの減益」「突出感を与えないよう留意する必要」などのネガティブ要素を示し、6月9日に「基準内賃金の2.91ヶ月分の支払い」「エルダー社員の精勤手当への1万円の加算」とする回答を行った。中央執行委員会における稟議を行い「JR労働者の努力に対する感謝の意が述べられていること」「エルダー社員への加算が実現したこと」「『月数』による回答が実現したこと」などから同日、妥結の判断を下した。

エルダー制度で新たな提案

JR東日本は、「グループ会社等と一体となった業務体制の提案」、「駅業務委託の更なる推進」等に加え、技術革新等による効率的で生産性の高い業務体制の推進、それと並行し、エルダー社員の持つノウハウ等を業務運営や人材育成、技術継承に活かし、大量退職期の急激な世代交代を乗り越えるため、平成30年度定年退職者よりエルダー社員の業務範囲の拡大と、それに伴う労働条件の一部変更を提案した。

業務範囲の拡大としては、(1)資格や適性検査の合格を要件とする業務(運適・医適を要する業務等)(2)設備等保全の計画、管理監督業務(3)管理業務にもエルダー社員が配置されること。

労働条件の一部変更としては、(1)業務に必要な資格の喪失や私傷病等で業務遂行が困難

になった場合の転勤命令と職種ごとに共通した職名の指定(2)会社で勤務するエルダー社員への社員と同様の勤務種別の指定等の勤務の取扱いの変更(3)管理業務や特別な責任を必要とする業務(管理者、輸送業務等)に従事する場合の手当の支給(4)精勤手当の算定方法の変更(5)割増賃金の算定基準の見直し等が示された。

業務範囲の拡大は、平成30年4月1日以降に定年退職する社員、労働条件の一部変更については、平成30年4月1日以降在籍する社員に適用するとしている。

突然の提案で現場の混乱も予想され、希望調査から締結までが提案通り実施されるか不安が残る。希望に沿った労働環境の実現に向け、職場から議論を起し、要求を作り上げ、本部交渉に反映させることが重要となる。

第3回地本執行委員長杯

ゴルフ大会を開催

仙台地方本部は、5月22日、山形ゴルフ倶楽部で「第3回執行委員長杯ゴルフ大会」を開催した。

真夏の到来を思いやる30度を超える炎天下、本部長杯の優勝を競い合った。上位入賞者のスコアが拮抗する中、



優勝の酒井さん(上)とBG松木さん(下)

る30度を超える炎天下、本部長杯の優勝を競い合った。上位入賞者のスコアが拮抗する中、

地本の組合員

優勝	酒井正一
2位	松木和彦
3位	折原康平
ベストスコア	松木和彦

とOBの24名のゴルフ愛好者が、執行委員長杯の優勝カップ獲得を目指し、自慢の腕を競い合った。上位入賞者のスコアが拮抗する中、

安定したショットを武器に87の好スコア出した山形運輸区OBの酒井正一さんが見事、優勝を飾った。ベストスコアは、アウト40、イン43、グロス83で山形駅連合分会の松木和彦さんが獲得した。

懇親会を兼ねた表彰式は、OB加藤博さんが激励を込めた名調子が乾杯を行い、各賞の

職制と職名の変更 (一部抜粋)

社員	エルダー社員
営業主務・営業主任・営業係	営業エルダー
事務主務・事務主任・事務係	事務エルダー
輸送主務・輸送主任・輸送係	輸送エルダー
主務車掌・車掌主任・車掌	車掌エルダー
主務運転士・主任運転士 運転士	運転士エルダー
車両技術主務・車両技術主任 車両技術係・車両係	車両エルダー
施設技術主務・施設技術主任 施設技術係・施設係	施設エルダー

行事予定

- ◇6月23日 大竹正さん慰労会
- ◇6月26日 山形運輸区分会エル

発表に会場は大いに盛り上がった。3回連続で参加された本部生田書記長提供の「生田賞」は山形運輸区分会の田中克己さんとOB大場昌晴さんが受賞した。「何よりも健康が一番」を合言葉に、来年の第4回大会での再開を誓いあった。

組合員の異動

- ◎5月31日 退職・土田誠一(第一建設・エルダー)

完